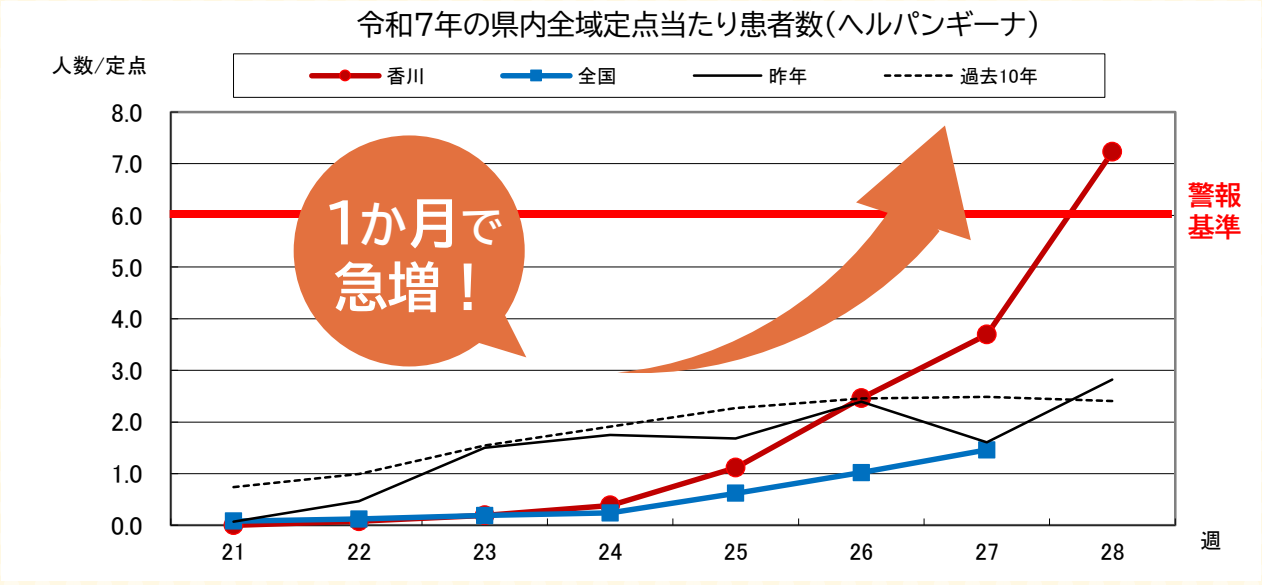
ヘルパンギーナ流行中！

ヘルパンギーナは発熱と口の中に水ぶくれができるのが特徴です。乳幼児に多く、ウイルスが原因で、夏に流行する「夏風邪」の代表的な病気です。
現在、県内でも患者が増えており、今後さらに流行する可能性があります。
5歳未満のお子さんがいるご家庭はご注意ください。



- **感染経路は？**
  ウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸い込んだり、手についたウイルスが口に入ったりすることで感染します。
- **潜伏期間と症状は？**
  2～4日の潜伏期間の後、急な発熱とのどの痛みが現れます。口の中が痛くなるため、機嫌が悪くなったり、食事や水分がとりにくくなり、特に乳児は脱水に注意が必要です。発熱やのどの痛みは通常2～4日で治まりますが、治療は症状に合わせた対応が中心です。
  まれに髄膜炎や心筋炎など重い合併症を起こすことがあります。頭痛や吐き気などが見られた場合は、早めに医師に相談してください。

予防のポイント

- アルコール消毒剤に抵抗があるのでうがいや、石けんと流水でしっかりと手洗いをして、タオルの共用は避けましょう。
- 症状がなくなっても2～4週間の長期にわたり、便からウイルスが排出されますので注意しましょう。

発行元：香川県健康福祉部感染症対策課
☎（087）832-3304

香川県感染症情報 ▶